


平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章	 <b>都立羽村特別支援学校</b>		基	通学区域	青梅市、福生市、東大和市、武蔵村山市、羽村市、立川市(西砂町、一番町)、瑞穂町、奥多摩町					
	松林のある豊かな教育環境に恵まれた 小中高一貫教育校			進路実績	企業就労率32.3%【主な就労先: パソナハートフル、スワロートラック、国立あおやぎ苑等】					
基	所在地	〒 205-0011 羽村市五ノ神319番地1	本	情	教 育 課 程 の 特 徴					
	アクセス	(1) 羽村駅東口より(立川バス)長岡循環 箱根ヶ崎行にて「緑ヶ丘三丁目」下車徒歩5分 (2) (3)				① キャリア教育を推進、児童・生徒の社会参加の機会の拡大				
設置学部	小学部、中学部、高等部	② 家庭と連携した基本的な生活習慣に関する指導の徹底								
幼児・児童生徒数	434名(小学部156名、中学部78名、高等部200名)※4月1日現在	③ 職業教育の充実								
学級数	79学級(小学部33学級、中学部16学級、高等部30学級)※4月1日現在	④ 外部専門員(OT・PT・ST・臨床発達心理士、ICT専門家等)との連携による指導の充実								
報	スクールバス	11台(大型5台、中型4台、小型2台)	副籍実施状況	副籍交流136名実施(内直接交流:56ケース実施)	学 校 評 価					
	その他		学校評価	保護者回答率(%) 小:84.0、中:95.3、高:68.8、全校:79.0 外部評価全体の肯定的評価:93.0%						
目指す学校		キャリア教育を推進し、生きる力を育てる 児童・生徒が自己の価値についての意識を十分に発達させ、地域社会の一員として生きる力を育み、自立と社会参加を支援する学校								
今年度の重点目標			今年度の取組と自己評価							
目 標	①	<b>学習指導</b> ○全員研究授業の実施 延べ170回以上 ○教材作成研修会の実施 5回以上 ○外部専門員の活用 1500時間 ○就労支援アドバイザーによる作業学習の改善 3名15回以上 ○特別支援教育免許保有率 90%以上	人権尊重教育を基盤に個々の実態の把握に努め、授業改善に取り組んだ。 ○研究授業 延べ214回 ○教材作成研修会の実施 5回 ○外部専門員の活用 1577時間 ○就労支援アドバイザーによる作業学習の改善 16回 ○特別支援教育免許保有率 90%							
	②	<b>スポーツ活動・文化活動等の充実</b> ○陸上、サッカー、ソフトボール等各競技大会への参加推進 ○高齢者施設への訪問など社会貢献事業の推進3回以上 ○オリンピック・パラリンピック教育の充実	地域資源を活用したスポーツ・文化活動を通して、より良い人間関係の形成及び地域に貢献する意欲を育んだ。 ○運動部等の各種大会への参加 9回 ○地域交流行事への参加、文化芸術活動の促進(和太鼓・オーケストラ等) ○パラスポーツや国際理解教育 各学部年間35時間以上 実施							
	③	<b>進路指導</b> ○高等部卒業生全体の企業就労率30%以上 ○企業就労希望者の就労率90%以上 ○進路情報を提供する研修会・見学会の充実	12年間を見通したキャリア教育を目指して、見学・研修に取り組んだ。 ○企業就労率 39.4% ○企業就労希望者の企業就労率 100% ○研修会(教員向け・保護者向け)実施 進路先見学会 11か所実施							
数 値 目 標	今年度の数値目標の内容		28年度	29年度	30年度	今年度		32年度	33年度	34年度
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標
	目標①	企業就労希望者の就労率	90	100	90	100	90	95	95	95
	目標②									
目標③										

「今日の一歩が光を招く 確かな一歩が未来に続く」

# 都立羽村特別支援学校

## 教育目標

- 丈夫な身体と豊かな心を育てる
- 自分で考え、行動する力を育てる
- 社会で自立していく力を育てるとともに、働く力を育てる

## 小学部

学校生活が始まる最初の学部として、「学校が大好きになる」「学習や遊びに意欲的に取り組む」ことを大切にしています。

生活リズムを整え日常生活に必要な力を身に付けることや、見通しをもって行動すること、人との関わりやコミュニケーションの力を伸ばすことを大切に実践を重ねています。



## 中学部

身辺自立の更なる向上を目指すとともに、様々な活動をとおして、体力や運動能力を高める取り組みをしています。

国語・数学の学習では、培ってきた基礎的な力をのばし、日常生活の中で実際に活用できる力を育むことを大切にしています。作業学習では、生徒一人一人が自信をもって取り組み、働く喜びや楽しみを味わえるよう工夫しています。



## 高等部

生徒一人一人に合わせた卒業後の社会参加と自立を目指し、作業学習を多く取り入れています。学校で学んだことが、地域や社会で発揮できるように、インターンシップ（職場体験）や現場実習での体験を重ね、自信を付けていきます。

第2学年からは教育課程の類型化を行い、より実態に応じたカリキュラムで学習しています。また、放課後の部活動も盛んで、多くの生徒が参加しています。



平成31年度

大切にしたい  
三つのキーワード

## わかりやすさ

- 見える化 構造化 分かる授業
- 保護者 地域への説明と発信

## たしかさ

- 根拠のある指導 丁寧さ 系統性
- 専門性 新学習指導要領への移行・準拠

## こちよさ

- 自己肯定感 良好な人間関係 安心・安全
- 多様性の尊重 自己表現 自己決定 達成感

『キャリア教育を推進し  
生きる力を育てる』

